



2026 SUPER GT RACE REPORT

AUTOPOLIS

Rd.7

10.17[sat] - 18[sun]

[place] オートポリス(大分県日田市)

[weather]  晴れ  晴れ

[spectators] 30,000人 ( 12,000人  18,000人)

Rd.1	OKAYAMA International Circuit	APR 11 - 12
Rd.2	FUJI SPEEDWAY	MAY 3 - 4
Rd.3	Sepang International Circuit	JUN 20 - 21 *開催延期
Rd.4	FUJI SPEEDWAY	AUG 1 - 2
Rd.5	SUZUKA CIRCUIT	AUG 22 - 23
Rd.6	Sportsland SUGO	SEP 19 - 20
Rd.7	AUTOPOLIS	OCT 17 - 18
Rd.8	MOBILITY RESORT MOTEGI	NOV 7 - 8

TOM'S

レース展開やタイヤ選択に
左右されながらも、3時間を力走。
6ポジションアップで4位入賞を果たす。



2026 AUTOBACS SUPER GT Round7 AUTOPOLIS GT 3Hours RACEが10月17日(土)・18日(日)にオートポリスで行われた。#37 Deloitte TOM'S GR Supra (笹原右京/ジュリアーノ・アレジ) は、予選10番手から、アレジがスタートを務めて、後半2スティントを笹原が担当する作戦でレースを展開。最終盤まで粘り強い追い上げをみせ、3位のライバルまで0.6秒差まで迫る4位フィニッシュを果たした。



RESULTS	
	
Round 7	
QUALIFYING 1	SASAHARA P6/1'33.394
QUALIFYING 2	ALESI P10/1'33.877
RACE / Fastest Lap	SASAHARA 1'39.116 ALESI 1'38.620
予選 10 位	決勝 4 位
Driver Standings	11 位
Team Standings	11 位

笹原 右京 | UKYO SASAHARA

ジュリアーノ・アレジ | GIULIANO ALESI

QUALIFYING

天候:晴れ | 気温:23℃ | 路面温度:29℃

今大会は、7月に発生した令和8年熊本地震を受け「がんばろう熊本!~熊本地震復興支援大会~」として開催された。金曜日の搬入日から、オートポリスには青空が広がり、ドライコンディションでセッションが進行。公式練習では途中で赤旗中断もあり、思うように走り込むことはできなかったが、10番手タイムを記録。午後の公式予選では、まず笹原がQ1を担当し、3番手から8番手までが0.2秒差にひしめく接戦のなか、1分33秒394で6番手タイムをマークしてQ2進出を果たした。続くアレジも果敢に攻めていったが、10番手タイムでセッションを終えた。今回は36kgと他車よりも比較的軽いサクセスウェイトで臨んでいただけに、決して満足のいく結果ではなかったものの、3時間という長丁場の決勝レースに向けては、レースペースも含めて自信を持っており、チームも決勝での追い上げに焦点を合わせている。



RACE

天候:晴れ | 気温:25℃ | 路面温度:33℃

予選日より気温、路面温度が上昇したなかで始まった3時間の決勝レース。今回はアレジがスタートを担当した。序盤から混戦模様になるなか、うまくチャンスを見つけて、9周目には7番手に浮上。その後も力強い走りで一時は3番手まで順位を上げ、35周目にピットイン。ここで笹原に交代した。レースは途中2度のセーフティカーが導入され、ピットタイミングで明暗が分かれる展開となるなか、37号車も少なからず影響を受けたものの、2回目のピットストップを終えたところで6番手を走行。選んだタイヤもベストな状態ではなかったが、笹原が意地の走りでライバルに迫っていき、ゴールまで残り10分というところで4番手に浮上。さらに前を走るライバルの背後に迫って表彰台圏内を狙ったが、わずか0.6秒届かず4位でフィニッシュとなった。6ポジションアップの猛追をみせたが、表彰台にはあと一歩及ばず。チームも悔しさを滲ませていた。





Driver

笹原 右京

全力を出し切りましたが、表彰台には届きませんでした。振り返るとタイヤ選択でもう少しできたことがあったのかも知れません。路面温度の変化に対して、僕たちが選択したタイヤは繊細に働いたところがありました。終盤はペースが上がらず苦しい状況でしたが、気持ちだけでどうにか走っていたという感じでした。今回はサクセスウェイトも軽く、勝つことしか考えていなかったのですのでごめいですが、次戦も全力で頑張ります。



Driver

ジュリアーノ・アレジ

久しぶりにスタートを担当しましたが、今回は長いレースだったので、戦略のことはもちろん、レース中どこまでリスクを取るのかということも意識して走りました。最終的に4位でポイントは獲得できましたが、悔しい気持ちが大いいます。ここでは優勝しかないという気持ちで臨んでいました。振り返ると、タイヤのチョイスが最適ではなかったとはいえ、クルマも良かったし、チームとのコミュニケーションも良かったので、ポジティブなところもいっぱいあります。それを次戦に繋げていきたいです。



Team Director

ミハエル・クルム

表彰台に上がりたかったので、あと一歩届かず残念でした。前半のジュリアーノは素晴らしい走りをみせてくれましたが、最初に入ったセーフティカーのタイミングが、我々にとっては厳しい展開となってしまいました。その結果、戦略的にズレが生じる形になって、3位が目の前という状況だったので、本当に悔しいです。いろんな状況はありましたが、ドライバーの2人が頑張ってくれました。クルマのパフォーマンスも良いので、次のもてぎでは表彰台を狙っていきたいです。



Team Principal

館 信秀

今回の37号車は、サクセスウェイトが比較的軽かったので、4位でポイントを獲れたことは良いですが、表彰台に上れなかったというのは、やはり悔しいです。ドライバーの2人はよく頑張ってくれましたが、タイヤ選択の部分を含めた作戦面が、今回のレースに対してうまくハマらなかったですし、セーフティカーが入ったタイミングも影響しました。残るはもてぎでの2レースになるので、しっかりと良い結果を残したいと思います。次戦も、たくさんの応援をよろしくお願いいたします。

Deloitte.

ZENT

トヨタ

TOYOTA
GAZOO
Racing

TGR-D

BRIDGESTONE

AUTHOR

OKANO
ExPress

BINGO

ほうらいせん
www.houraisen.co.jp

POLAIRE

BRIDE

PORTS.CO.JP

S&D
TAMA GROUP

ENKEI

HRX

Mizuno

ThreeBond

MECHANIX WEAR

KRS

ドライバーランキング

2026 SUPER GT GT500

順位	Car No.	ドライバー	TTL	Rd.								SW Rd.8
				1	2	3	4	5	6	7	8	
1	36	坪井 翔 / 山下 健太	61	20	20		8	2	8	3		61
2	100	山本 尚貴 / 牧野 任祐	58	4	3		20	0	11	20		58
3	17	塚越 広大 / 野村 勇斗	45	1	2		6	16	20	0		45
4	38	大湯 都史樹 / 小林 利徳斗	43	16	0		5	6	1	15		43
5	39	関口 雄飛 / サッシャ・フェネストラズ	36	6	8		3	0	15	4		36
6	23	高星 明誠	36	3	11		0	8	3	11		36
7	16	野尻 智紀 / 佐藤 蓮	35	5	6		2	20	0	2		35
8	8	太田 格之進 / 大津 弘樹	34	0	0		16	11	2	5		34
9	23	千代 勝正	33	3	11		0	8	-	11		36
10	14	福住 仁嶺 / 大嶋 和也	31	8	16		4	3	0	0		31
11	37	笹原 右京 / ジュリアーノ・アレジ	26	0	0		11	1	6	8		26
12	12	平峰 一貴 / ベルトラン・バゲット	26	11	4		0	5	0	6		26
13	24	名取 鉄平 / 三宅 淳詞	15	2	5		0	4	4	0		15
14	19	国本 雄資 / 阪口 晴南	8	0	1		1	0	5	1		8
15	23	佐々木 大樹	3	-	-		-	-	3	-		36
16	64	大草 りき / イゴール・オオムラ・フラガ	2	0	0		0	0	1	1		2

ドライバーポイント (GT500)

1位: 20pt / 2位: 15pt / 3位: 11pt / 4位: 8pt / 5位: 6pt / 6位: 5pt 7位: 4pt 8位: 3pt / 9位: 2pt / 10位 / 1pt

チームランキング

2026 SUPER GT GT500

順位	Car No.	チーム名	TTL	Rd.								SW Rd.8
				1	2	3	4	5	6	7	8	
1	36	TGR TEAM au TOM'S	79	23	23		11	5	11	6		61
2	100	STANLEY TEAM KUNIMITSU	76	7	6		23	3	14	23		58
3	17	ASTEMO REAL RACING	58	3	4		9	18	23	1		45
4	38	TGR TEAM KeePer CERUMO	58	18	1		8	9	4	18		43
5	39	TGR TEAM SARD	51	9	11		6	0	18	7		36
6	23	NISMO	51	6	14		0	11	6	14		36
7	16	ARTA MUGEN	50	8	9		5	23	0	5		35
8	8	Team HRC ARTA MUGEN	49	2	2		18	14	5	8		34
9	14	TGR TEAM ENEOS ROOKIE	48	11	18		7	6	3	3		31
10	12	TEAM IMPUL	41	14	7		2	8	1	9		26
11	37	TGR TEAM Deloitte TOM'S	39	1	-		14	4	9	11		26
12	24	KONDO RACING	33	5	8		3	7	7	3		15
13	19	TGR TEAM WedSport BANDO	22	2	3		4	1	8	4		8
14	64	Modulo Nakajima Racing	11	2	1		0	3	2	3		2

チームポイント (GT500)

1位: 20pt / 2位: 15pt / 3位: 11pt / 4位: 8pt / 5位: 6pt / 6位: 5pt 7位: 4pt 8位: 3pt / 9位: 2pt / 10位 / 1pt

チーム決勝周回ポイント (GT500)

トップと同一周回: 3pt / 1周遅れ: 2pt / 2周遅れ: 1pt / 3周遅れ以上: 0pt